



◆鈴鹿西部の見どころ◆

①(椿大神社) 鈴鹿山系の中央、入道ヶ岳の麓に鎮座し、みちびきの祖神「猿田彦大神」を祀る社の総本宮で、「伊勢の国一の宮」に定められています。参道の両側には樹齢数百年の檜・杉の古木が立ち並び、優し難い霊気に満ちています。また、故松下幸之助氏より日本庭園と共に寄進された「鈴松庵」も有名です。

②(桃林寺) 入道ヶ岳の麓にある「龍雲山桃林寺」は臨済宗東福寺派の禅寺で、海拔200mの山門からは鈴鹿の町並みと伊勢湾をとおして志摩半島、知多半島が一望でき絶景です。

③(石薬師寺と一里塚) 高富山石薬師寺といひ真言宗の寺院です。木立に囲まれた本堂は江戸初期の桃山様式で、神戸城主一柳直盛の再建によるといわれています。

④(久間田神社の弁天踊り) 久間田地区の用水は「弁天池」から引かれています。住民の飲料水や、かんがい水として大切な水が溜めよう池の中に弁天様を祀り、祭りが始られたと伝承されています。

⑤(佐佐木信綱記念館と生家) 歌人で国文学者の信綱(1872~1963)は、弘綱を父としてこの地で生まれました。記念館には第1回文化勲章をはじめ多くの遺品、著書、原稿など2000点が収蔵されています。

⑥(庄野宿資料館) 庄野町に残る膨大な宿場関係資料の活用を図り、併せて旧小林家(市指定文化財)の保存を進めるため主屋の一部を創建当時の姿に復元し、平成10年4月に庄野宿資料館として開館しました。

⑦(東海自然歩道) 鈴鹿市内には四日市との境界である内部川から始まり亀山市に入る西庄内町までの9.9kmが通っています。休憩には導きの神・猿田彦神社の総本山「椿大神社」や、少し足を延ばせば伊勢湾を望むことができる「桃林寺」がお勧めです。

⑧(荒神山観音寺) 「荒神山の喧嘩」で有名な、真言宗の荒神山観音寺。また、春日局が寄進したといわれる釣鐘があることで有名です。4月7日の春祭りには火渡りも行われ、多くの参拝者で賑わいます。

⑨(だるま寺) 通称「だるま寺」と呼ばれ親しまれている臨済宗金剛山江西禅寺。毎年2月11日に願いを込めてだるまの片眼を開け、願いのかんたたるまは、10月5日に消災大供養が行われその時に焚かれる「満願の火」は、縁起が良いとされ、多くの参拝者で賑わいます。

⑩(鈴鹿市考古博物館) 鈴鹿市考古博物館は国史跡伊勢国分寺跡の隣接地にあり、奈良時代の寺院や役所に関する特色ある資料を中心に、展示を行っています。

⑪(小岐須渓谷) 鈴鹿川支流の御幣川が造りだした全長4kmに及び渓谷で、小岐須渓谷山の家付近の「鮎止の滝」を始め多くの滝が点在しています。夏には水遊びをする家族連れで賑わいます。

⑫(加佐登神社) 日本武尊(ヤマトノミコ)を祭神とする加佐登神社。神社の北西には日本武尊のお墓といわれている白鳥塚古墳があり、日本武尊の霊が白鳥になって飛び去ったという伝説があります。

⑬(屏風岩) 屏風岩は御幣川の浸食作用によってできた高さ30m、長さ130mもある白色石灰岩の崖壁で、大理石の回廊のような独特の景観は県の天然記念物にも指定されています。

⑭(ほたるの里) 豊かな暮らしの反面、失われていく自然。ほたるもそのひとつです。西庄内地区では毎年6月頃多数のほたるが夜空に舞っています。

⑮(女人堤防) この辺りは鈴鹿川と支流安楽川の合流点で、たびたび氾濫して被害が大きくなり、文政12年頃、神戸藩に何度も修築を申し出たが許されず、女性たちが禁を犯し打ち首を覚悟で堤防を補強しました。

⑯(定五郎橋) 前川定五郎は天保3年甲斐村の生まれで、甲斐の渡しを徒渉する通行人の苦渋を見て筏で渡す奉仕活動をし、65歳の時四つ乗り船を賃金で買取り通行人を救いました。

⑰(蒲桜) 寿永のころ蒲冠者で知られる源範頼が平家追討の軍をひきいて京都へ向う途中、石薬師如来に戦勝を祈願し、その際、鞭にしていた桜の枝を地面に挿し「我が願い叶いなば、汝地に生かよ」といい残して出発したといわれます。

⑱(伊勢茶) 千年の歴史を誇る鈴鹿のお茶。試行錯誤を繰り返した先人たちの努力が実り、県内随一の産地となりました。現在栽培されている品種は「やぶきた」が主流。

⑲(鼓ヶ浦海水浴場) 鼓ヶ浦海水浴場は、鈴鹿市観光協会が主催する「鼓ヶ浦海水浴大会」が行われることで有名です。

⑳(鈴鹿サーキット) 鈴鹿サーキットは、鈴鹿市にあるサーキットです。F1や各種レースが行われます。

㉑(鈴鹿市観光協会) 鈴鹿市観光協会は、鈴鹿市の観光振興を目的として設立された団体です。

㉒(近鉄) 近鉄は、鈴鹿市を走る鉄道の会社です。鈴鹿駅は主要駅の一つです。

㉓(JR) JRは、鈴鹿市を走る鉄道の会社です。鈴鹿駅は主要駅の一つです。

㉔(伊勢湾) 伊勢湾は、鈴鹿市に面する大きな湾です。美しい景観と豊かな漁産物があります。

㉕(鈴鹿市) 鈴鹿市は、三重県の中部に位置する市です。歴史ある文化と自然豊かな環境があります。

㉖(三重県) 三重県は、鈴鹿市を含む県です。豊かな自然と歴史ある文化があります。

㉗(鈴鹿市観光協会) 鈴鹿市観光協会の連絡先とウェブサイトです。

INFORMATION

- 鈴鹿フラワーパーク管理事務所 ☎367-3455
庄野宿資料館 ☎370-2555
佐佐木信綱記念館 ☎374-3140
鈴鹿市考古博物館 ☎374-1994
西部体育館 ☎371-1476
西部野球場 ☎374-3455
西部テニスコート ☎374-3455
鈴鹿川河川緑地運動施設 ☎370-8099
三重県花植木センター ☎370-4977
椿溪谷キャンプ場 ☎371-0001
小岐須渓谷キャンプ場 ☎371-0001
小岐須渓谷山の家 ☎371-1910

お問い合わせ
鈴鹿市観光協会 〒510-0241
三重県鈴鹿市白子駅前17-12
TEL059-380-5595 FAX059-380-5596
●鈴鹿市観光協会ホームページ http://www.kanko.suzuka.mie.jp/